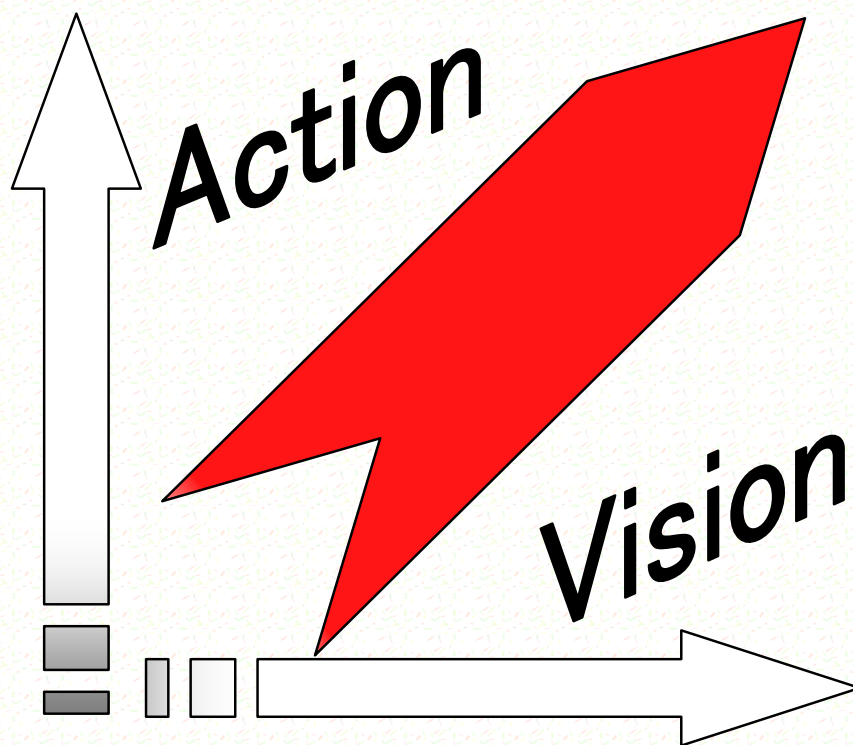


## キャリア意識の発達に関する効果測定テスト (Career Action-Vision Test:CAVT) －開発の経緯と活用の手引き－

法政大学キャリアデザイン学部では、「キャリア相談実習」(およびその事前指導)を通して、他者のキャリアに関する相談を行う能力を高め、それによって自らのキャリア意識・職業意識の形成を高めるといった活動を行っています。

本テストは、この取り組みの一環として、キャリア相談実習の効果が、どのような側面にどの程度見られるのかを測定するために作成しました。全国の大学生を対象とした大規模調査をもとに厳選された質問項目によって、大学生のキャリア意識の発達を測定し、将来の就職活動の成否などを見直すことができます。

様々な大学における様々なキャリアガイダンスの取り組みを評価するための効果測定用の質問項目として、また、学生自らが自分のキャリア意識の発達を知るツールとして、幅広く使用可能な汎用版のテストとして使用することができます。



# Career Action-Vision Test (CAVT)

## －項目プロトタイプ－

### Action

学外のような活動に熱心に取り組む  
尊敬する人に会える場に積極的に参加する  
人生に役立つスキルを身につける  
様々な人に出会い人脈を広げる  
何ごとにも積極的に取り組む  
様々な視点から物事を見られる人間になる

### Vision

将来のビジョンを明確にする  
将来の夢をはっきりさせ目標を立てる  
将来、具体的に何をやりたいかを見つける  
将来に備えて準備する  
将来のことを調べて考える  
自分が本当にやりたいことを見つける

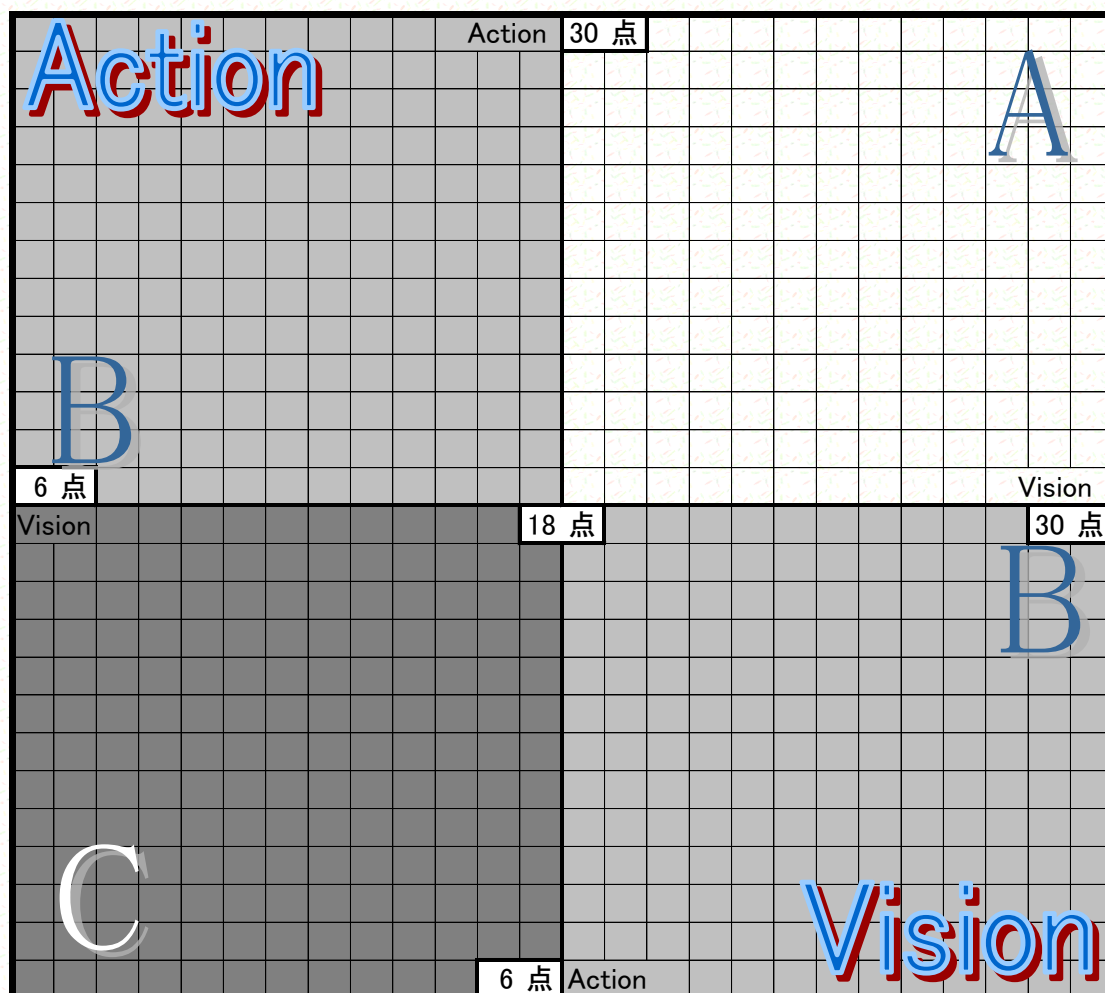
- ・大学生の就職活動で必要な力を、このテストでは、アクション(Action)とヴィジョン(Vision)との2つの側面から捉えます。
- ・「アクション」は、将来に向けて、どのくらい熱心に積極的に行動を行っているかを測定する項目群です。学外の活動やスキルの獲得、幅広い人脈の構築など、いろいろな活動を含みます。
- ・「ヴィジョン」は、将来に向けたヴィジョンや夢、やりたいことなどを、どのくらい明確にしているか、また、それに向けて準備しているかを測定する項目群です。
- ・「アクション」と「ヴィジョン」は、それぞれ6項目ずつと少ないですが、大学生を対象とした精密な調査研究から厳選された最も重要な12項目となっています。

# Career Action-Vision Test (CAVT)

## －プロットシート－

・このテストは、キャリアガイダンスの効果を「アクション」と「ヴィジョン」の2つの側面から測定するのが特徴です。

・「アクション」得点と「ヴィジョン」得点をプロットシートにプロットして解釈します。



## プロットシート

# Career Action-Vision Test (CAVT)

## －プロットシートの解釈－

・「アクション」得点、「ビジョン」得点をプロットシートに書き写すと、以下の3つのゾーンのどれかに位置することになります。

・3つのゾーンはそれぞれ以下のように解釈できます。

### 【Aゾーン】 右上 白いゾーン

「アクション」得点も「ビジョン」得点も高く、現在のところ、キャリア形成に向けて積極的に活動しており、将来に対する展望も明確であると言えます。このままの状態を維持すれば、将来の就職やキャリア形成もうまくいくことが予想されます。

### 【Bゾーン】 左上と右下 灰色のゾーン

「アクション」得点か「ビジョン」得点の一方が高く、もう一方は低い場合です。キャリア形成に向けた活動または将来に対する展望のどちらかは高いので、これからは低かった方にも力を入れていくとよいでしょう。「アクション」得点と「ビジョン」得点の両者が高いAゾーンを目指しましょう。

### 【Cゾーン】 左下 黒いゾーン

「アクション」得点と「ビジョン」得点のいずれも低く、キャリア形成に向けて積極的に活動を始め、将来に対する展望を明確にすることが重要になってくると言えます。現在のままでは、将来の就職やキャリア形成がうまくいかないことも予想されますが、これからの頑張りしだいでは大きく伸びる余地があります。

# Career Action-Vision Test (CAVT)

## －活用の方法①－

### ①キャリアガイダンスの効果測定のために

キャリアガイダンスの実践の前後で実施し、キャリアガイダンスの効果測定を行います。同じ質問項目に2回、くりかえして回答することによって、自分にどんな変化が生じ、どんな面で有益だったのかを知ることができます。また、キャリアガイダンスの提供者は、個々の学生の数値を集計して、今後の改善の手がかりが得られます。

### ○第1回測定用(事前測定用)

あなたは、現在、以下のようなことが、どの程度、できていると感じますか。  
あてはまる箇所には○をつけて回答してください。

	かなり でき ている	やや でき ている	ど ち ら も 言 え な い	あ ま り でき て い ない	でき て い ない
将来のビジョンを明確にする	5	4	3	2	1
学外の様々な活動に熱心に取り組む	5	4	3	2	1
将来の夢をはっきりさせ目標を立てる	5	4	3	2	1
尊敬する人に会える場に積極的に参加する	5	4	3	2	1
将来、具体的に何をやりたいかを見つける	5	4	3	2	1
人生に役立つスキルを身につける	5	4	3	2	1
将来に備えて準備する	5	4	3	2	1
様々な人に会い人脈を広げる	5	4	3	2	1
将来のことを調べて考える	5	4	3	2	1
何ごとにも積極的に取り組む	5	4	3	2	1
自分が本当にやりたいことを見つける	5	4	3	2	1
様々な視点から物事を見られる人間になる	5	4	3	2	1

### ○第2回測定用(事後測定用)

あなたは、現在、以下のようなことが、どの程度、できていると感じますか。  
あてはまる箇所には○をつけて回答してください。

	かなり でき ている	やや でき ている	ど ち ら も 言 え な い	あ ま り でき て い ない	でき て い ない
将来のビジョンを明確にする	5	4	3	2	1
学外の様々な活動に熱心に取り組む	5	4	3	2	1
将来の夢をはっきりさせ目標を立てる	5	4	3	2	1
尊敬する人に会える場に積極的に参加する	5	4	3	2	1
将来、具体的に何をやりたいかを見つける	5	4	3	2	1
人生に役立つスキルを身につける	5	4	3	2	1
将来に備えて準備する	5	4	3	2	1
様々な人に会い人脈を広げる	5	4	3	2	1
将来のことを調べて考える	5	4	3	2	1
何ごとにも積極的に取り組む	5	4	3	2	1
自分が本当にやりたいことを見つける	5	4	3	2	1
様々な視点から物事を見られる人間になる	5	4	3	2	1

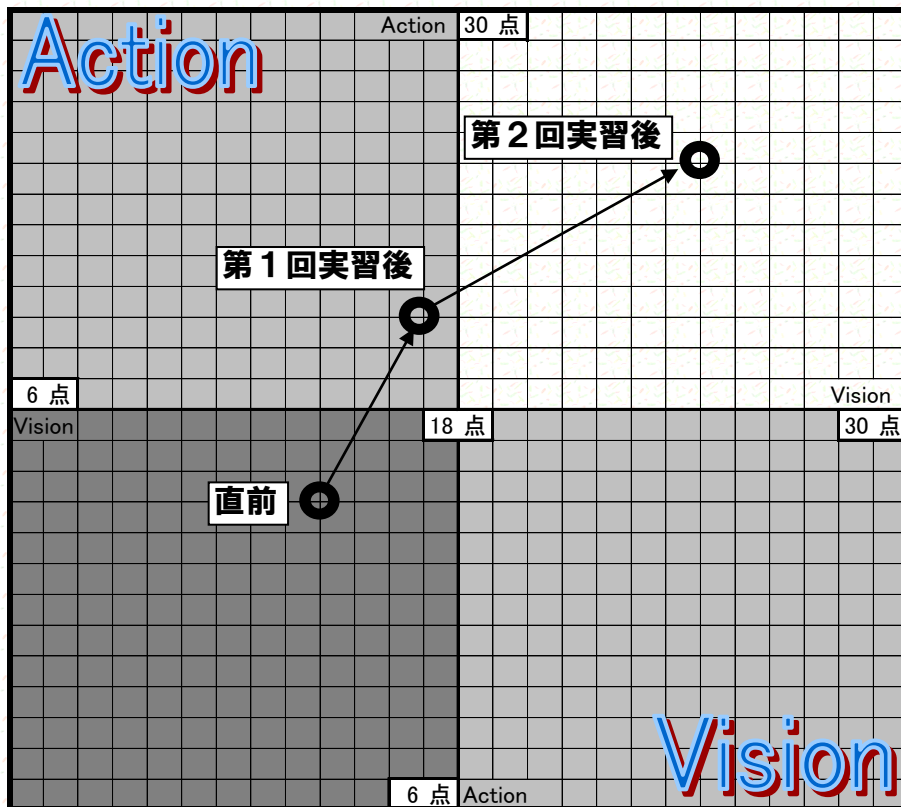


# Career Action-Vision Test (CAVT)

## －活用の方法②－

### ②自分の成長の記録のために

プロットシートは大切に保管しておき、一定期間を空けて連続的に使用することで、自分の成長を記録しておくことができます。時間的な変化を眺めることで、自分がどのように成長してきたのか、また、今後、何をすべきなのかが分かります。



### ③将来に向けた自己理解のために

現在の自分に足りないところは何かを確認し、これからどうしていきべきなのかの指針が得られます。大学生の就職やキャリア形成には、積極的な活動と将来展望の2つの側面が不可欠です。

将来のビジョンがまだ定まっていない人は、もう一度、自分の夢や目標、やりたいことをじっくりと考えてみましょう。自分はいろいろな面で消極的だと感じた人は、学外の人や尊敬する人に積極的にアプローチし、幅広い人脈、様々なスキル、幅広い視野を身につけられるようにしましょう。

# Career Action-Vision Test (CAVT)

## －その他の活用－

・このテストは、教示文を工夫したり、質問文の語尾を変更したりすることで、いろいろな場面で活用することができます。

### ○キャリアガイダンスの感想を測定する場合

あなたは、この実習でどのように感じましたか。あてはまる箇所に○をつけて回答してください。	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
将来のビジョンを明確にすることができた	5	4	3	2	1
学外の様々な活動に熱心に取り組むことができた	5	4	3	2	1
将来の夢をはっきりさせ目標を立てることができた	5	4	3	2	1
尊敬する人に会える場に積極的に参加することができた	5	4	3	2	1
将来、具体的に何をやりたいかを見つけることができた	5	4	3	2	1
人生に役立つスキルを身につけることができた	5	4	3	2	1
将来に備えて準備することができた	5	4	3	2	1
様々な人に出会い人脈を広げることができた	5	4	3	2	1
将来のことを調べて考えることができた	5	4	3	2	1
何ごとにも積極的に取り組むことができた	5	4	3	2	1
自分が本当にやりたいことを見つけることができた	5	4	3	2	1
様々な視点から物事を見られるようになった	5	4	3	2	1

### ○将来に向けたモチベーションを測定する場合

あなたは、今後、どのようにしたいと思いますか。あてはまる箇所に○をつけて回答してください。	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
将来のビジョンを明確にしたい	5	4	3	2	1
学外の様々な活動に熱心に取り組みたい	5	4	3	2	1
将来の夢をはっきりさせ目標を立てたい	5	4	3	2	1
尊敬する人に会える場に積極的に参加したい	5	4	3	2	1
将来、具体的に何をやりたいかを見つけない	5	4	3	2	1
人生に役立つスキルを身につけたい	5	4	3	2	1
将来に備えて準備したい	5	4	3	2	1
様々な人に出会い人脈を広げたい	5	4	3	2	1
将来のことを調べて考えたい	5	4	3	2	1
何ごとにも積極的に取り組みたい	5	4	3	2	1
自分が本当にやりたいことを見つけない	5	4	3	2	1
様々な視点から物事を見られる人間になりたい	5	4	3	2	1

・ただし、教示文や質問文を変更した場合には、「Career Action-Vision Test (CAVT)」を改変して使用した旨を明記してください。詳細は「使用にあたっての注意点」をお読み下さい。

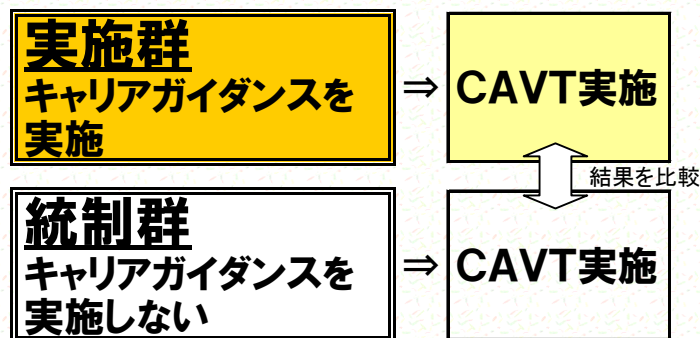
# Career Action-Vision Test (CAVT)

## ーキャリアガイダンスの効果測定ー

・キャリアガイダンスの効果測定には、2つの考え方があります。

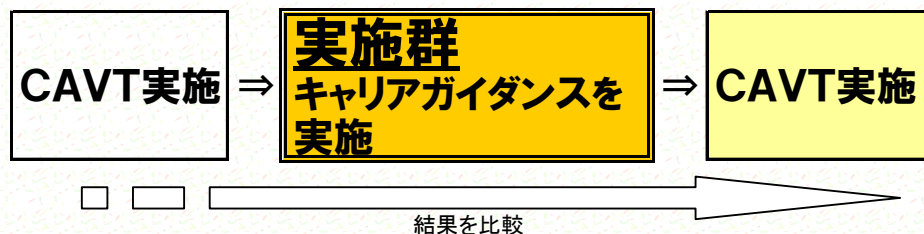
### ○実施群ー統制群の比較

何らかのキャリアガイダンスを行ったグループにCAVTを実施し、同時に、特に何も行わなかったグループにもCAVTを実施します。キャリアガイダンスを行った実施群の方が CAVT の値が高ければ、キャリアガイダンスの効果があった可能性を示すことができます。



### ○事前ー事後の比較

何らかのキャリアガイダンスを行う前にCAVTを実施します。キャリアガイダンスを行った後に再度、CAVTを実施します。事前のCAVTの値よりも事後のCAVTの値の方が高ければ、キャリアガイダンスの効果があった可能性を示すことができます。



※一般に、事前ー事後の比較の方が質の高い比較であるとされています。統制群との比較では個人差など他の要因の影響が大きくなるからです。また、上の2つは組み合わせられて実施することが可能であり、そのやり方が最も質の高い比較となります。



# Career Action-Vision Test (CAVT)

## —理論背景—

・このテストは、キャリアガイダンスに関する3つの理論的背景をもとに作成しました。

### ①キャリア発達研究「自己効力感理論」

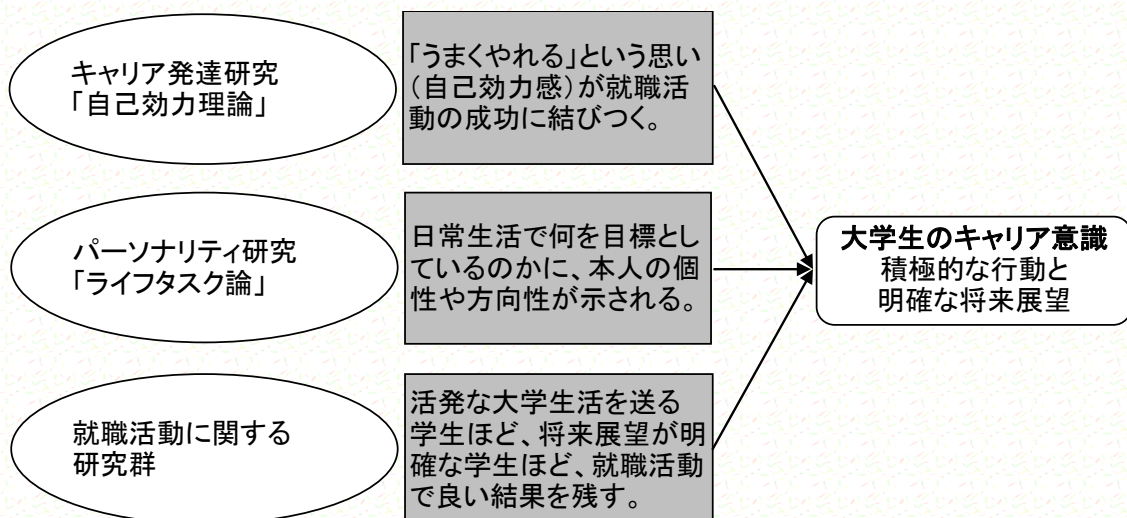
「自分はうまくやれるという感覚」(自己効力感)をもっていることが、実際の行動や遂行結果と密接に関連することが幅広く実証されています。このテストでは、質問項目に対する自己効力感をたずねることによってキャリア意識を測定します。

### ②パーソナリティ研究「ライフタスク理論」

自分の生活の中で、現在、どのような目標をもち、何に力を注いでいるのか(ライフタスク)には、本人の考え方やモチベーション、個性や性格などを含めた様々な特徴が現れることが知られています。このテストでは、大学生の就職活動と特に関連が深いライフタスクを質問項目にしています。

### ③大学生の就職活動に関する研究

先行研究から、大学生活を活発に送る学生ほど、また、将来に対する展望が明確な学生ほど、就職活動の結果が良いことが示されています。このテストでは、積極的な行動と明確な将来展望に焦点をあてました。



# Career Action-Vision Test (CAVT)

## －作成過程①－

・このテストは、次の2つのプロセスで作成しました。

### ①大学1年生調査

大学生 349 名を対象に「大学生活で目標としたいこと」について自由記述を求めました。その結果、表1の左表の語句が多く用いられていることが分かりました。意味内容を考慮して整理した結果、大学生が、普段、大学生活で目標としていることは、右表のとおり、「勉強」「活動」(サークル・アルバイト等)「友人」「自分」「生活」「将来」の6側面に大きく分類されることが分かりました。

表1 大学生が大学生活で目標としたいこと

全体件数	326				
○友達・友人	43	13.2%	⇒集約	○授業、勉強、単位	96 29.4%
○授業	40	12.3%		○サークル、アルバイト	55 16.9%
○サークル	27	8.3%		○友達、友人	48 14.7%
○勉強	22	6.7%		○自分	36 11.0%
○自分	17	5.2%		○生活	35 10.7%
○英語	16	4.9%		○英語、資格、将来	56 17.2%
○資格	14	4.3%			
○単位	11	3.4%			
○生活	11	3.4%			
○アルバイト	9	2.8%			
○将来	9	2.8%			
○部活	5	1.5%			
その他	102	31.3%			

そこで、これら6側面について15項目ずつ項目を作成しました(表2参照)。項目の作成にあたっては、大学生の実際の自由記述を用いました(ただし、表現の整理・統一を行っています)。

### ②大学生大規模調査

上で作成された90項目を、就職活動を行った(または就職活動中の)大学4年生1850名に実施し、実際の就職活動に特に関連が深い項目(表3参照)、大学4年間を通じてもっと頑張っておけば良かったと思う項目などを中心に選定し、20項目程度の仮テスト項目を厳選しました。多変量解析の手法を用いて、さらに項目を厳選し、最終的に「アクション」6項目、「ビジョン」6項目の計12項目を作成しました。

# Career Action-Vision Test (CAVT)

## －作成過程②－

表2 大学生の自由記述に基づく効果測定テスト原案90項目

<p><b>○勉強</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 大学の授業には必ず出席する</li> <li>2 大学の授業に遅刻しない</li> <li>3 大学の授業をきちんと聞く</li> <li>4 大学の授業で良い成績をとる</li> <li>5 大学のゼミに積極的に参加する</li> <li>6 自分のためになる勉強をする</li> <li>7 様々な知識を身につける</li> <li>8 本をたくさん読む</li> <li>9 毎日こつこつ勉強する</li> <li>10 大学で必要な基礎力をつける</li> <li>11 授業を自分のものにする</li> <li>12 勉強と他の活動を両立させる</li> <li>13 就職や将来に向けた勉強をする</li> <li>14 単位をできるだけ多くとる</li> <li>15 卒業に向けて単位を落とさないようにする</li> </ol>	<p><b>○自分</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分と向き合い自分を知る</li> <li>2 プラス思考で生活する</li> <li>3 今までに経験のない事に取り組む</li> <li>4 手をつけたことは最後までやり通す</li> <li>5 何ごとにも積極的に取り組む</li> <li>6 日々の生活をできるだけ楽しむ</li> <li>7 人生に役立つスキルを身につける</li> <li>8 いろいろなものを見て視野を広げる</li> <li>9 多様な分野に興味を持つ</li> <li>10 良い思い出をたくさん作る</li> <li>11 今まで経験したことがないことをする</li> <li>12 周囲に流されない</li> <li>13 政治経済に興味を持ち教養の幅を広げる</li> <li>14 様々な視点から物事を見られる人間になる</li> <li>15 自分が本当にやりたいことを見つける</li> </ol>
<p><b>○活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 サークル活動などで良い思い出を作る</li> <li>2 サークル活動を通じて仲間と仲良くやる</li> <li>3 サークルに積極的に参加する</li> <li>4 サークルや部活動に打ち込む</li> <li>5 サークルで成果を残す</li> <li>6 サークルで自分が夢中になれることを見つける</li> <li>7 アルバイトをして働くことを身につける</li> <li>8 豊富なアルバイト経験を得る</li> <li>9 アルバイトでお金を稼ぐ</li> <li>10 アルバイトをしながら社会勉強をする</li> <li>11 サークルや部活動で仲間に信頼される</li> <li>12 海外旅行をする</li> <li>13 海外旅行に行くためのお金を貯める</li> <li>14 ボランティアやNPOなどで活動する</li> <li>15 学外の様々な活動に熱心に取り組む</li> </ol>	<p><b>○生活</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 規則正しい生活をする</li> <li>2 楽しく生活する</li> <li>3 自立した生活をする</li> <li>4 早寝早起きをする</li> <li>5 生活のリズムを乱さないようにする</li> <li>6 時間を上手に使う</li> <li>7 時間の使い方に気をつける</li> <li>8 体調を崩さないようにする</li> <li>9 健康のために運動をする</li> <li>10 家事をしっかりとやる</li> <li>11 自炊や掃除を怠けずにこなす</li> <li>12 料理をできるようにする</li> <li>13 健康に気づかい体力を保つ</li> <li>14 大学、アルバイト、サークルのバランスをとる</li> <li>15 大学生活を充実したものにする</li> </ol>
<p><b>○友人</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 仲の良い友達をつくる</li> <li>2 友達を多くつくる</li> <li>3 友達を作って自分の価値観を広げる</li> <li>4 信頼できる友人を作る</li> <li>5 年齢の異なる人と交流を持つ</li> <li>6 親友と呼べる友達を作る</li> <li>7 年齢や性別、国籍に関わらず交友関係を広げる</li> <li>8 他の学部 of 学生とも仲良くなる</li> <li>9 様々な人に出会い人脈を広げる</li> <li>10 尊敬する人に会える場に積極的に参加する</li> <li>11 昔からの友人を大切に作る</li> <li>12 一生つきあえるような友人を作る</li> <li>13 気の合う友人と楽しくやる</li> <li>14 サークルやアルバイトなどで交友関係を広げる</li> <li>15 サークルに入って友達をたくさん作る</li> </ol>	<p><b>○将来</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 英語やその他の語学力を身につける</li> <li>2 様々な資格について情報収集する</li> <li>3 将来のことを調べて考える</li> <li>4 英語(外国語)を話せるようにする</li> <li>5 様々な検定を受験し、資格を得る</li> <li>6 将来具体的に何をやりたいかを見つける</li> <li>7 英語(外国語)の会話の力をつける</li> <li>8 資格をとるための勉強を始める</li> <li>9 将来のビジョンを明確にする</li> <li>10 語学を幅広く勉強する</li> <li>11 資格や試験のための勉強をする</li> <li>12 将来の夢をはっきりさせ目標を立てる</li> <li>13 これからの人生について考える</li> <li>14 将来就きたい職業について考える</li> <li>15 将来に備えて準備する</li> </ol>



# Career Action-Vision Test (CAVT)

## — 作成過程③ —

表3 就職活動中の大学4年生が就職活動と特に関連が深いと考える項目群

	就職活 動に関 係があ る	大学生 活を通じ てうまく できた
自分と向き合い自分を知る	96.0%	83.2%
将来就きたい職業について考える	93.9%	75.1%
様々な知識を身につける	93.8%	75.1%
いろいろなものを見て視野を広げる	93.7%	79.4%
時間を上手に使う	93.5%	52.5%
時間の使い方に気をつける	93.0%	58.8%
何ごとにも積極的に取り組む	93.0%	71.3%
様々な視点から物事を見られる人間になる	92.8%	73.0%
自分のためになる勉強をする	92.6%	74.7%
これからの人生について考える	92.3%	74.9%
体調を崩さないようにする	91.1%	74.3%
将来のことを調べて考える	90.8%	66.7%
自分が本当にやりたいことを見つける	90.5%	68.9%
将来に備えて準備する	90.2%	61.8%
将来具体的に何をやりたいかを見つける	89.9%	60.5%
多様な分野に興味を持つ	89.4%	77.2%
手をつけたことは最後までやり通す	89.3%	75.1%
将来の夢をはっきりさせ目標を立てる	89.0%	58.3%
年齢の異なる人と交流を持つ	89.0%	77.3%
就職や将来に向けた勉強をする	88.2%	60.3%
今までに経験のない事に取り組む	88.0%	79.6%
友達を作って自分の価値観を広げる	88.0%	81.3%
将来のビジョンを明確にする	87.9%	55.9%
大学生活を充実したものにする	87.6%	76.8%
信頼できる友人を作る	87.5%	83.5%
人生に役立つスキルを身につける	87.3%	63.1%
様々な人に出会い人脈を広げる	86.3%	64.6%
プラス思考で生活する	86.3%	68.0%
仲の良い友達をつくる	86.1%	86.8%
勉強と他の活動を両立させる	85.8%	71.0%
大学、アルバイト、サークルのバランスをとる	85.5%	69.4%
卒業に向けて単位を落とさないようにする	85.3%	83.0%
アルバイトをしながら社会勉強をする	83.9%	76.4%
日々の生活をできるだけ楽しむ	83.9%	82.1%
自立した生活をする	83.7%	61.7%
今まで経験したことがないことをする	83.3%	79.0%
アルバイトをして働くことを身につける	82.3%	79.5%
本をたくさん読む	82.1%	51.9%
尊敬する人に会える場に積極的に参加する	82.0%	50.7%
政治経済に興味を持ち教養の幅を広げる	80.9%	53.7%
サークルや部活動で仲間に信頼される	80.8%	56.8%
サークル活動を通じて仲間と仲良くやる	80.1%	57.1%
学外の様々な活動に熱心に取り組む	77.6%	39.4%

仮テスト項目の選定にあたっては、

①まず、就職活動を行った大学4年生が就職活動に関係があると回答した項目をリストアップしました。

②次に、それら項目の中から、大学4年生の3/4以上が大学生活を通じてうまくできたと回答した項目(左表の灰色部分参照)を取り除きました(大学4年生になれば、ほとんどの学生がうまくできるようになる項目はテストに含める必要がないからです)。

③上の基準で残った20項目(左表の黄色項目)について多変量解析の手法を用いて分析を行い、最終的に12項目に絞り込みました。

# Career Action-Vision Test (CAVT)

## — 作成過程④ —

表4 因子分析による質問項目の検討結果

	Vision	Action
学外の様々な活動に熱心に取り組む	.012	.582
将来のビジョンを明確にする	.912	-.052
尊敬する人に会える場に積極的に参加する	-.102	.842
将来の夢をはっきりさせ目標を立てる	.901	-.038
将来、具体的に何をやりたいかを見つける	.877	-.048
将来に備えて準備する	.802	.012
人生に役立つスキルを身につける	.275	.460
将来のことを調べて考える	.731	.031
様々な人に出会い人脈を広げる	-.114	.843
何ごとにも積極的に取り組む	.194	.556
自分が本当にやりたいことを見つける	.574	.225
様々な視点から物事を見られる人間になる	.230	.475
因子間相関		.605

上は最尤法(プロマックス回転)。なお、主因子法(バリマックス回転)でも同じ因子構造がみられた。その際の累積説明率は57.7%。因子負荷量の高い項目(網かけ)で $\alpha$ 係数を算出した結果、第I因子 $\alpha = .920$ 、第II因子 $\alpha = .831$ であった。

探索的な因子分析を数回繰り返し、質問項目を検討した結果、右に示す2因子構造をもつ質問項目として構成することができました。

表5 他の能力との相関関係

	Action	Vision
<b>【経済産業省「社会人基礎力」】</b>		
物事に進んで取り組む力	.538	.497
他人に働きかけ巻き込む力	.530	.406
目的を設定し確実に行動する力	.456	.465
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	.419	.448
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	.443	.450
新しい価値を生み出す力	.511	.425
自分の意見をわかりやすく伝える力	.481	.454
相手の意見を丁寧に聴く力	.385	.373
意見の違いや立場の違いを理解する力	.377	.364
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	.407	.385
社会のルールや人との約束を守る力	.314	.346
ストレスの発生源に対応する力	.347	.322
<b>【文部科学省「職業的発達にかかわる4能力領域」】</b>		
自他の理解能力	.430	.410
コミュニケーション能力	.470	.398
情報収集・探索能力	.347	.364
職業理解能力	.408	.458
役割把握・認識能力	.438	.416
計画実行能力	.465	.455
選択能力	.485	.445
課題解決能力	.457	.451
<b>【厚生労働省「若年者就職基礎能力」】</b>		
意思疎通	.466	.402
協調性	.370	.309
自己表現能力	.510	.433
責任感	.420	.403
向上心・探求心	.515	.487
職業人意識・勤労観	.440	.455
読み書き	.329	.335
計算・計数・数学的思考力	.244	.263
社会人常識	.362	.347
基本的なマナー	.371	.349

※数値は相関係数。全て5%水準で統計的に有意。上位5位までを網かけとした。

大学生活を通じて身についたと思う諸能力との相関関係も高く、アクション-ヴィジョンの2側面は、大学生の様々な能力の基盤となる能力である可能性も示されました。



# Career Action-Vision Test (CAVT)

## ーテストに関するデーター

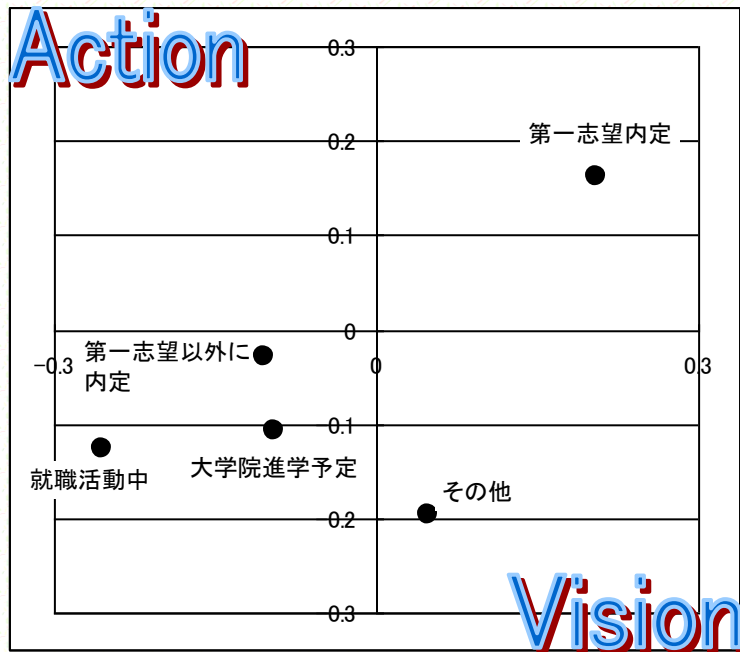


図1 大学4年生の進路選択別のテストの因子得点の平均値

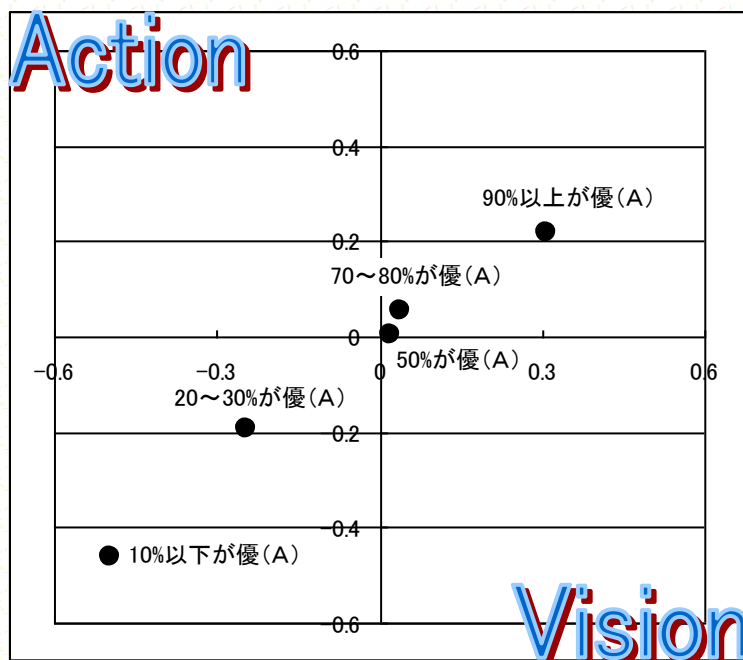


図2 大学4年生の学業成績別のテストの因子得点の平均値

# Career Action-Vision Test (CAVT)

## ーテストに関するデータ②ー

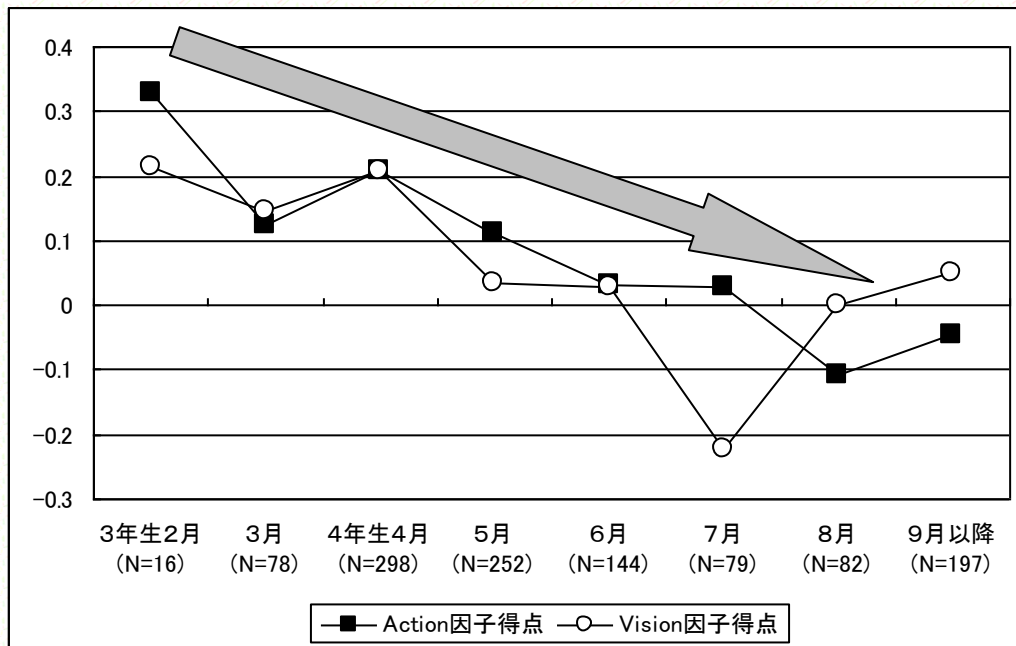


図3 就職内定時期別の Action 因子得点および Vision 因子得点の平均値

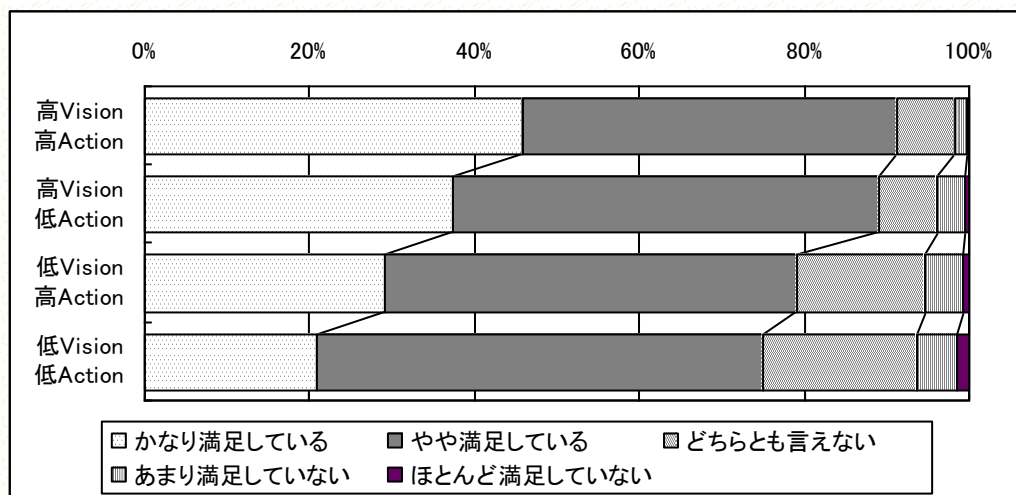


図4 Action 得点および Vision 得点による 4 類型別の就職内定先に対する満足度

# Career Action-Vision Test (CAVT)

## －使用にあたっての注意点－<sup>1</sup>

1. 「Career Action-Vision Test」(以下、CAVT)の著作権は、法政大学が保有します。
2. CAVT を使用した結果を、学術論文、書籍、報告書その他の出版媒体、テレビ、DVD その他の映像媒体他、何らかのメディアで発表する際には、「Career Action-Vision Test (CAVT)」を使用した旨を明記する必要があります。<sup>2</sup>
3. CAVT(またはCAVTの一部)およびCAVTの結果を、許可なく商用目的で利用することを禁止します。
4. 目的に応じて、CAVTの教示文、質問項目などを自由に改変して使用することができますが、その際は、「Career Action-Vision Test (CAVT)」を改変して使用した旨を明記する必要があります。
5. CAVTの使用および使用に関する事項によって生じた損害について、著作権者は損害を負わないものとします。
6. その他、使用にあたって不明な点がある場合には、著作権者に連絡するものとします。

### [連絡先]

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学キャリアデザイン学部  
【キャリア相談実習準備室】  
TEL03-3264-6373 E-mail soudanadv@mm.edu.i.hosei.ac.jp

<sup>1</sup> 2012年3月に一部注意点を変更。

<sup>2</sup> この尺度を用いる際には、以下の論文を引用してください。

- 下村英雄・八幡成美・梅崎修・田澤実 2009 大学生のキャリアガイダンスの効果測定用テストの開発 キャリアデザイン研究, 5, 127-139.

なお、同論文において尺度名は以下のように変更しています。

- キャリア意識の発達に関する効果測定テスト(キャリア・アクション・ビジョン・テスト:CAVT)